


教員プロフィール

	<p>保育科 教授</p> <p>野 中 弘 敏 (のなか ひろとし)</p> <p>Nonaka Hirotoshi</p>
所属	保 育 科
学位	修士 (教育学) (東京大学)
資格・免許	臨床心理士 (登録番号: 第 7072 号) 精神保健福祉士 (登録番号: 第 08740 号) 公認心理師 (登録番号: 第 490 号)
学歴・職歴	<p>学歴:</p> <p>1993年3月 東京大学教育学部教育心理学科 卒業</p> <p>1995年3月 東京大学大学院教育学研究科教育心理学専攻修士課程 修了</p> <p>2001年3月 東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻 教育心理学コース博士課程 単位取得後退学</p> <p>職歴:</p> <p>1993年4月 武蔵大学学生相談室 非常勤インテーカー (1997年3月まで)</p> <p>1994年2月 メンタルサービスセンター 非常勤訪問カウンセラー (1998年3月まで)</p> <p>1994年2月 杉並区教育委員会登校拒否巡回相談事業 非常勤指導員 (1998年3月まで)</p> <p>1995年4月 新宿区牛込保健センター精神障害者社会復帰促進事業 (デイケア) 非常勤グループワーカー (2000年3月まで)</p> <p>1997年1月 医療法人社団草思会押上ハウス (精神障害者グループホーム) 世話人 (2003年6月まで)</p> <p>1998年4月 駒澤大学総合教育研究部教職課程部門 兼任講師 (現在に至る)</p> <p>2000年4月 東京都多摩総合精神保健福祉センター思春期特定相談事業 非常勤相談員 (2002年3月まで)</p> <p>2000年4月 東京電機大学工学部人間科学系列 兼任講師 (2003年3月まで)</p> <p>2000年5月 東京電機大学工学部学生相談室 非常勤相談員 (2010年3月まで)</p> <p>2002年4月 医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック 非常勤心理職 (2003年5月まで)</p> <p>2003年4月 芝浦工業大学工学部教職課程 兼任講師 (2003年7月まで)</p> <p>2004年2月 山梨学院短期大学専攻科食物栄養専攻 兼任講師 (2004年3月まで)</p> <p>2004年4月 山梨学院短期大学保育科 講師 (2005年3月まで)</p> <p>2004年4月 山梨学院短期大学専攻科保育専攻 兼担講師 (現在に至る)</p> <p>2004年4月 東京電機大学工学部人間科学系列 兼任講師 (2006年3月まで)</p> <p>2005年4月 山梨学院短期大学保育科 助教授 (2007年3月まで)</p> <p>2007年4月 山梨学院短期大学保育科 准教授 (職名変更) (2015年3月まで)</p> <p>2010年4月 山梨学院大学健康栄養学部管理栄養学科 兼任講師 (現在に至る)</p> <p>2015年4月 山梨学院短期大学保育科 教授 (現在に至る)</p> <p>2017年4月 山梨学院短期大学専攻科保育専攻 科長 (現在に至る)</p> <p>2020年4月 山梨学院短期大学 学生部長 (現在に至る)</p>

担当科目	教育相談の基礎 臨床心理学 知的生活の探求 こころの科学 教育相談 臨床心理学特論 現場研修Ⅰ（保育専攻） カウンセリング演習 ピア・サポート論（山梨学院大学） 総合演習Ⅲ（駒澤大学）	
専門分野	臨床心理学	
現在の研究テーマ	こころの健康と笑い・ユーモア マンガ・アニメにみる心理 観光の心理	
競争的資金等の研究課題	争いはたいてい共に生き延びる力を削ぐ営みなので、できれば極力避けたいものです。個人的には。	
所属学会	日本心理臨床学会 日本人間性心理学会 日本保育学会 日本教育心理学会 International Society for Humor Studies 日本学生相談学会	
メッセージ	対人援助職で重視される「他者理解」のために、自分と異なる背景や状況、好みや考えをもつ他者への想像力や、豊かに想像するための諸知識も大切ですが、どうやら「他者への眼差し」の濃やかさは「自分への眼差し」のそれとも相関するようです。短大生活での経験や出会いが、自他への眼差しを深める糧となりますように。	
教育		
2020年4月～2021年3月		
教育方針	お互い、他者と自身に細やかな眼差しを向けられる人をめざしませんか。なるべく「勝手に学んでしまう人」になれますように。	
授業	授業の工夫	<p><教育相談> 各自が自らの関心に即した児童・保護者・教師の心理的課題やその解決のための実践に関わる論文を選んでレジュメ化し、報告・討議する形式で進めた。報告に対する口頭またはコメント用紙によるリプライは全員で共有し、さらなる問いを深められるよう努めた。</p> <p><臨床心理学> 日常場面で生かせるカウンセリング・マインドおよび基本的スキルの習得を目標とした演習と、ピアヘルパー資格試験への対策を念頭に置いた講義の双方を行った。前者では、グループカウンセリングの一方法である構成的グループエンカウンターの体験的学習など実践的な演習形態を取り入れた。</p> <p><教育相談の基礎> 教育・矯正施設等の現場における支援の実際をとりあげた視聴覚教材を用いて、支援される／する者の行動とその心理的背景について考察を求めるとともに、臨床心理学的観点からの解説を行った。</p> <p><こころの科学・知的生活の探求> 映画作品の視聴を通じて、登場人物の時系列的行動と対人関係の様相、それらの心理的背景について考察を求めるとともに、臨床心理学的観点からの同時解説を行った。</p>
	授業改善のための取組	本年度はCOVID-19の影響により、所属学会等における大会・ワークショップへの参加は困難であったが、担当科目において取り上げられるべき今日の問題やそれらへのアプローチのあり方について、書籍やWebを情報源として日々研鑽を深めるよう努めている。

教育 (つづき)		
2020年4月～2021年3月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	本年度前期は遠隔授業となったが、Zoom や LINE などのツールを駆使して、個々人の関心を極力丁寧に掘り起こしつつ、妥当な量的・質的研究の方法を示唆し、実証的な考察を深められるよう心がけて指導した。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p><卒業レポートテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい地位による性格の差異－自己評価による性格特徴－ ・人はどうして夢を見るの？－睡眠中に見る夢の世界と現実世界には繋がりはあるのか－ ・コロナ禍での生活状況－学生生活と授業の変化における学生の心情－ ・産後うつ病－現状とその対策について－ ・世界の幼児教育からみる日本の幼児教育の課題点と改善に向けた考察－世界の教育指数上位国の教育プログラムにならう幼児教育－ ・摂食障害患者の体と心－摂食障害を抱える人の気持ちを理解し、私たちができることを考えよう－ ・幼児の感じるストレスとその影響について－保育者としての関わり方を考える－ ・何故カウンセラーになろうと思ったのか－カウンセラーへのインタビュー－ ・児童虐待をしてしまう加害者（親）たちの心・背景について ・SNS を利用する際の「トラブル・誹謗中傷」について－アンケートを通して探る－ ・植物と関わることによる心の変化 ・「食べる」ことのとらえ方の違い－現代社会の食の形と摂食障害の心理状況－ ・障害と家庭環境と自殺・刑務所行き願望の視点から見る少年犯罪の背景について <p><修了研究テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベテラン保育者と新人保育者のストレス－幼稚園・保育園・認定こども園との比較－ ・小学生におけるアイメッセージの効果と認知度について ・ポジティブ・ネガティブな考え方が感情にどのように影響を及ぼすのか
課外活動	Tier Kreis 顧問 児童文化研究会顧問 手話ボランティアサークル顧問 本年度は COVID-19 の影響により、学生による課外活動は困難であったが、学内外で着ぐるみパフォーマンス・人形劇・手話の研鑽を行うサークルに対し、コーチと協働して主に会計処理など事務処理面の支援と心理的支援を行った。	

教育 (つづき)		
2020年4月～2021年3月		
主な教育業績	2021年2月 専攻科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第34回学生研究発表会」(Webによる開催)において修了研究の成果を口頭発表した。	
2020年3月以前		
主な教育業績	<p>2016年2月 専攻科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第29回学生研究発表会」において修了研究の成果を口頭発表した。</p> <p>2014年2月 保育科ゼミ学生2名が共同で、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第27回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。</p> <p>2009年2月 保育科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第22回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。</p> <p>2008年2月 保育科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第21回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。</p> <p>2006年2月 保育科ゼミ学生が、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会主催「第19回学生研究発表会」において卒業レポートの成果を口頭発表した。</p>	
研究		
2020年4月～2021年3月		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
※なし		
2020年3月以前(主なもの)		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) 子ども臨床とカウンセリング(共著)	2013年9月	みらい
(著書) 教育相談—子どもの理解とカウンセリング(共著)	2012年3月	大学図書出版

<p>社会貢献</p> <p>産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等</p>
<p>2020年4月～2021年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床心理士会 会員（1999年～現在に至る） ・日本精神保健福祉士協会 会員（2001年～現在に至る） ・全国保健・医療・福祉心理職能協会 役員（HP担当）（2004年～2019年5月） ・東京公認心理師協会 会員（2006年～現在に至る） ・山梨学院生涯学習センター 調査協力員（2012年～現在に至る） ・日本私立短期大学協会学生生活委員会 委員（2016年～現在に至る） ・山梨学院大学・山梨学院短期大学 高大連携プログラム 講師（年2～3回）（2016、2017、2018、2019、2020年度） ・山梨県立笛吹高等学校 学校評議員（2020年～現在に至る）
<p>2020年3月以前（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FM甲府 生涯学習の時間 講師（2005、2012年） ・山梨学院短期大学 教員免許状更新講習・免許法認定講習 講師（2008、2011、2017、2018年度） ・山梨学院大学 教員免許状更新講習 講師（2009、2016、2017、2018年度） ・YBS（山梨放送） YGU山梨学院大学ラジオセミナー 講師（2013、2015、2017年） ・山梨県中央児童相談所 メンタルフレンド研修会 講師（2014、2015年度） ・私学研修福祉会 私立短大学生生活指導担当者研修会 運営委員（2016、2017、2018、2019年度）
<p>受賞 ※個人、所属団体</p>
<p>※なし</p>